

日本共産党 品川区議会議員
 Japanese Communist Party 2024年4月28日
区政報告 No. 375

公式ライン
アカウント

安藤たい作
ニュース

LINE QRコード

バックナンバー **品川 安藤たい作ニュース** 検索

事務所 西品川3-16-3 Tel/FAX 3491-3230



日本国憲法の全面実施を求める者として、区長の発言にいい意味で地獄耳にならざるを得ない

漫画：安藤たい作

ひとり親家庭の保護者からも喜びの声

4月から 品川区で学用品無償化が実現

【無償化の対象】
 ドリルや計算カード等の副読本、業者テスト、絵具や習字、裁縫、朝顔観察セット、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、調理実習での食材費負担等。
 *修学旅行費用や、個人で揃える文房具は対象外

【支給の方法】
 保護者に直接支給ではなく、学校毎または学年毎に1人あたりの負担額（11,000円～39,000円）を設定し、児童・生徒数に応じた一定の金額を各学校に交付。交付された各学校が、教育活動に必要な補助教材等を選定し、購入し保護者負担を無くす。（学校ごとに使う教材や頼んでいるメーカー等も違うため）

子育てにはお金がかかります。がんばって働いたら、手当での支給条件の所得制限を超えてしまい、逆に手当の支給がストップ、収入が減ってしまった。これからどうやって子どもにかかる費用を捻出していくと途方にくれていたところに、学用品が無償化になると聞いてホッとした。とても助かります（区内の中学生と小学生の子どもの方がいるシングルマザーの方）

区独自に 都内初
 品川区でこの4月から、区立学校学用品全額無償化がスタートしました。正確な事業名は「補助教材費保護者負担軽減事業」といい、文字通り補助教材にかかる費用を学校に支給することで、所得制限無しで区立小中学校に子どもが通う全ての保護者の負担軽減をはかるものです。区によれば「都内初」の事業で、年間の予算額5億5千万円は、全額区独自の予算、いわゆる「単費」です。

憲法を引き論戦
 学校給食の無償化が予算化された去年の予算委員会で共産党は「憲法26条に『義務教育は、これを無償とする』とある通りに、給食費以外の学用品なども無償化を」と3回目の質問。区は「義務教育の無償については、基本的には授業料の無償であると捉えられている。個人の手元に残るもの、個人に還元される学用品については、引き続きご負担いただく」と背を向けていました。

それだけに新年度予算のプレス発表時、区長が「憲法を無償とする」という原則が明記されているが、昨年実施した給食費無償化に加えて補助教材費についても合わせて保護者の負担が生じている実態なので、公費負担していくということ、社会全体で子どもと子育てを支えていくということを実現していきたい」と無償化の理由を説明したことは画期的でした。

特別支援学校等にも拡大を
 区議団は、代表質問等で率直にこの点は評価し、対象外である特別支援学校の児童生徒への無償化の拡大など、更なる前進を求め質問を続けています。

更なる要望実現へ 22項目の予算修正を提出 1.4%の組み替えで切実な要望が実現できます

今回の予算議会で、区議団は、予算の使い方を暮らし・福祉優先に切り替え、看過できない不要の予算を削除し、22項目の事業を実現させるため予算修正案を提出しました(詳細は先月号)。22項目の事業の合計で28億円余。一般会計全体のわずか1.4%の組み替えで、以下の要望が実現できます。一部紹介します。

各種がん検診無料化 (3600万円)	眼科・歯科等の 健診拡充 (3.66億円)	補聴器購入助成の 13万7千円への増額 (8400万円)	18歳までの 国保料無料化 (1.5億円)
高齢者、子育て世帯、 若者の家賃補助 (5000万円)	コミバス大崎・荏原 ルート運行 (1.86億円)	大学生への 給付型奨学金 (1.45億円)	35人学級を 中学校にも拡大 (1.57億円)
学校図書館司書の 週5日配置 (1.78億円)	小山三丁目開発 予算の削除 (-7.8億円)	今回の修正により、大企業の利益を優先する区政から、区民が主人公の、暮らし福祉最優先の区政への転換の第一歩となるものと考えます。他会派にも賛同を呼びかけましたが、残念ながら共産党のみの賛成で修正案は否決に。共産党は、予算原案には反対しました。	

区議団報告ニュース 4・5号ができました



予算修正の詳細(上)及び区議団ニュース(下)は、いずれも区議団ホームページからご覧になれます

- 【1面】実績記事
 - ▶新年度予算で区民要求が大きく前進
 - ▶更なる要望実現へ22項目の予算修正
- 【2面】告発記事
 - ▶国保・介護・後期高齢者保険料トリプル値上げ
 - ▶新庁舎建設費560億円に
 - ▶区立保育園統廃合・民間売り渡し方針は撤回を
 - ▶羽田新ルートアンケートに切実な声



日本共産党品川区議団

第三火曜18:30~20:30は弁護士を迎えての**無料法律相談会**
5月は**5/21(火)**

【会場】安藤たい作事務所(西品川3-16-3・右地図) 【主催】共産党品川地区委員会

* 予約制(5742-6818(控室)または3491-3230(事務所))

お困り事がありましたら、上記日程に関わらず



安藤 たい作(あんどう たいさく)プロフィール
1974年宮城県仙台市生まれ。宮城教育大学に在学中に共産党に入党。漫画家を志し98年上京。ハケンで働きながら02年コミック誌奨励賞受賞。06年~品川区議会議員。5期目。文教委員会。党区議団幹事長。家族・妻、二女。好きなもの:麺類、少年ジャンプ。

